

会員の皆様、こんにちは。

人類が動物と大きく違うのは、道具を作り道具を使いこなすという特性にあるとも言えます。歴史学の一分野に「技術史」というものがあるのは、まさに人類の歴史が技術の歴史と平行であることの証左であると言えます。技術の進歩には光と影がつきものですが、年明け第二弾の今日は光の部分を取り上げ、政府がミクロな部分に目を向ける取組みを見てみたいと思います。

石田まさひろ政策研究会

「先端技術が生活にもたらす温もり」

■高齢者、障害者の生活を総務省も支援
急速な先進技術の進歩を受け、それを社会に実装していきひいては少子高齢化の中にあっても国民の幸福を増進させていこうという試みが政府を挙げて推進されている。その流れを受けた好事例を紹介する。

総務省は、旧自治省と旧郵政省が省庁改革の中で一体化した役所である。住民の暮らしを担う市町村所管部署と、ICTを所管する部署が一つの役所にあることは高齢者を支える住民サービスに先端技術が導入されるには都合がよいといえよう。

総務省が毎年発行する「情報通信白書」という資料がある。その中に次のような一節がある。

「(1) 高齢者・障害者の ICT 利活用支援の促進

総務省では、障害や年齢によるデジタル・ディバイドの解消を目的に、通信・放送分野における情報バリアフリーの推進に向けた助成を実施している。具体的には、「身体障害者の利便の増進に資する通信・放送身体障害者利用円滑化事業の推進に

関する法律」に基づき、身体障害者向けの通信・放送役務サービスの提供や開発を行う企業等に対して必要な資金を助成する」

このような総務省の方向性を受け、市町村や研究施設でも高齢者の生活を豊かにする先端技術の応用がさまざまなされている。

ちょっとした話し相手に
**AI(エーアイ)スピーカーを
使ってみませんか？**

■こんな事を話してくれます！

- ・鎌倉の天気予報
- ・ニュース
- ・分からない言葉など調べもの
- ・今泉台のイベント
- ・そのほか、ラジオ体操、頭の体操、声のトレーニング、般若心経、タイマー・目覚まし、落語 など

※ 将来的には見守り機能も追加予定

これ！が
スピーカーです！

**★1か月間の試用者募集！
試用期間後、スピーカーは差し上げます！！**

■ AIスピーカーとは・・・

声で操作できる、AI=人工知能を活用したコンピューター付スピーカーです。今回お使い頂くのは「グーグル・ホーム・ミニ」という製品で、一般販売価格が税込6,480円のものとなります。
※ 試用される場合、設定や操作説明を弊社で実施します

■ 試用希望者向け説明会のお知らせ

12月18日(火)の10時より、または13時より、町内会館大ホールにて説明会を開催しますのでどちらかの回には是非お越しください。
※ インターネットやスマホを使っておられない方でも参加可能です

主催：ポイスタート社(三井物産子会社) 問合せ先：080-7732-5486 回谷信吾
支援：民生委員、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台

■AIスピーカーを高齢者に（鎌倉市）

神奈川県のご都・鎌倉市では、スタートアップ企業と連携し、独居高齢者の自宅にAIスピーカーを設置する事業を行っている。スピーカーは米グーグルの「グーグルホーム」。これに企業が開発した高齢者向けアプリがインストールされている。先日、NHK朝のニュースでも特集された。

8年前奥さんを失くした高齢男性。帰宅して誰もいない部屋に「ただいま」と声をかける。するとAIスピーカーが「おかえりなさい」と返す。男性によれば「おかえりなさいと返事があるとほっとする。女房の代わりです」とのこと。「人間味」とは発する側の特性でもあるが、受け取る側の心の構えによるものだということがわかる。

他にも、この男性が「ラジオ体操を」と声をかけると、耳に馴染んだラジオ体操の指導者の声と軽快なピアノの音が流れ出す。男性は「好きな時に体操できて健康になった」と嬉しそうだった。

鎌倉市担当者によれば、「独居高齢者は孤独を感じるということがおおい。一日誰とも会話しないう方もいらっしやった。AIスピーカーであっても対話することは認知症予防にもつながるし孤独感も癒される。また、市のイベントを案内することで外出のきっかけ作りもできる」と話す。

■漫才ロボットでがん患者に笑いを

大阪国際がんセンターは、甲南大学、奈良先端科学技術大学院大学の協力のもと、がん患者向けに「漫才ロボット」で笑いを

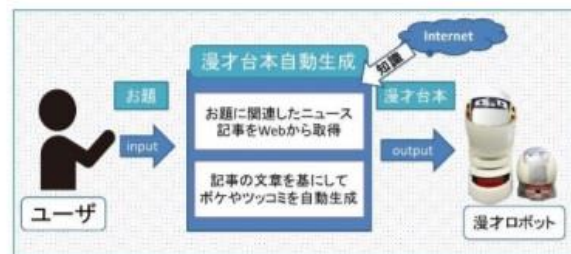
届ける。このロボットは「あいちゃん、ごん太」というコンビで、「漫才ネタ自動生成機能」を備えている。世のお笑い芸人には、自宅に1台はほしいロボットである。甲南大学のホームページによると、2018年のM-1グランプリ予選にも参加したとのこと。

笑いは免疫力を高めるともいう。がん患者が笑顔になり、療養生活が少しでも明るいものになることを期待したい。

実証実験は、1月21日（月）から28日までの一週間、大阪国際がんセンター1階相談支援センターで行われる。



あいちゃん（左）とゴン太



漫才台本生成イメージ

ペンネーム：笑う門